

## 1 体験学習の支援

希望のあった区内3校の支援要望に沿って、講師紹介や授業プランの企画協力、体験先の開拓や紹介等を行った。短時間の体験を長期にわたり行う学校では生徒は地域への親近感が生まれ、地域は頼れる高校生の出現に刺激を受け、顔の見える関係ができつつある。

地域からの継続への期待は大きい。学校と地域の強みを見極めながら、生徒にとって思いがけない出会いとなるような場面をしかけていきたい。



## 2 都立高校支援ボランティアの組織化

平成19年度より「スクールリンクサポーター」の募集を行い「研修会」や「都立高校教員との奉仕学習会」を夜間に定期的開催。サポーターは地域住民や、元PTA関係者、退職副校長などからなり、実際に学校に出かけて体験活動のサポートを行っている。研修会では、都立高校を理解するために年間計画や求められる人材・情報・支援内容の研究を行い、教員との学習会では、地域が期待する高校生の体験メニューの検討や実施体制等についての情報交換を行ってきた。

学校のスケジュールにあった体験メニューを既存の地域行事等と絡め積極的に学校に提案すること、学校はサポートの要請内容を明確にして幅広く協力を求めていくこと、コーディネーターは担当者を孤立させずに実施体制も含め、双方の力を活かした後押しが重要だと痛感しているところである。

### サポーターからのコメント（「茶論ワンコイン」菊地さん）

私は自宅の一部を世田谷トラストまちづくりの地域共生の家として、「茶論ワンコイン」と名づけた7畳くらいのスペースを、地域の方々に開放しています。高校生を受け入れ、地域のおじいさん、おばあさんと一緒にバザーの小物づくりを行ったり、お知らせのチラシ作りを受け持ってもらったりしました。身近にお年よりはいないという高校生たちでしたが、ごくごく自然にコミュニケーションをとることができていました。受け入れ側のお年寄りが、いまだきの高校生を「異邦人」とした見方をしないで愛情を持った言葉がけをしてかかわってくださったからだと思いました。認知症のお年寄りともひと時を過ごし、驚きを隠せないようでしたが、別れる時、「さびしいな」とつぶやき、老いるという状態の一端を垣間見、感じ取ったことは大きいと思いました。人が好きな人になってほしいです。



## 1 金銭基礎教育プログラム

### 東京都立鷺宮高校 他

より長期的な視野で「お金」と「人生」について考える授業を提供することにより、働き方を考える機会とする。生活コストを考える学習や、「正社員 経理」や「コンビニエンスストア店員 フリーター」等のカードを使ったゲーム形式で収入から生活スタイルをシュミレーションするワークショップなど、様々な組み合わせにより、将来を見据えて職業選択する大切さを知る。

自分の将来（進路）を楽しみながら考えてほしい。それが「育て上げ」ネットのキャリア教育です。生徒を飽きさせないようゲーム感覚を適所に取り入れた親しみやすいプログラムを通して、進路決定だけでなく将来に役立つ情報を提供していきたいと考えています。



## 2 進路選択、就職準備講座 等

職業調べや大学調べ、自己理解、マナー講座、面接講習などのプログラムを組み合わせ、学校の希望や生徒の状況をみながらプログラム作りと授業進行の補助実施。